



令和5年度御殿場市防災リーダー等ステップアップ研修

日 時：令和6年3月14日（木）18:30～20:00
場 所：御殿場市民会館大ホール
司会進行：危機管理課 参事 鈴木 博

次 第

1 開 会

2 挨拶

危機管理監 水 口 光 夫

3 演 題

『御殿場市富士山火山避難計画の概要について

～ 分水嶺の特性を活かした避難で市民の命と暮らしを守る～ 』

御殿場市危機管理補佐監 杉 本 嘉 章

4 質 疑 応 答

5 閉 会



講話資料：防災 DX 「御殿場市富士山火山避難計画の概要について（研修用）」

「令和5年度ステップアップ研修次第・レジメ（06.02.20）」

資料1 「御殿場市富士山火山避難計画（06.02.20）」

資料2 「御殿場市富士山避難計画の概要について（06.02.20）」

⇒ 【PC 検索】 令和5年度御殿場市防災リーダー等ステップアップ研修開催のお知らせ



令和6年3月14日
御殿場市危機管理補佐監
杉本嘉章

◆◆◆ 『御殿場市富士山火山避難計画の概要について』 ◆◆◆
～ 分水嶺の特性を活かした避難で市民の命と暮らしを守る！ ～

・ 趣旨

令和5年3月に富士山火山防災対策協議会によって策定された『富士山火山避難基本計画』に基づき策定した『御殿場市富士山火山避難計画の概要』について、自主防災会、防災士を始め、多くの市民の皆様に広く周知・説明しご理解いただくとともに、『各区富士山火山避難計画』作成の参考としていただくもの。

・ 前言

- (1) 地図を観ると災害が見えてくる！
- (2) 「地を知り、危険を知り、我を知り、・・・」、静的な地形×動的な気象＝災害
- (3) 講話のポイント「ゲー・チョキ・パーで大切な命と暮らしを守る。」

1 御殿場市の災害「特性と対応」

- (1) 四方を山に囲まれた内陸、南西からの風雨に弱い地形
- (2) 御殿場市の中央部を走る分水嶺(降水と溶岩流の流下への影響)

2 御殿場市富士山火山防災マップの概要

- (1) 富士山には「長い噴火の歴史あり」(三大噴火:延暦・貞観・宝永噴火)
- (2) 『富士山火山防災対策協議会ハザードマップ』改定の経緯
- (3) 富士山ハザードマップの見方、『御殿場市富士山火山防災マップ』の概要
- (4) 分水嶺による「溶岩流パターン区分」、市内溶岩流到達地域・到達予測時間
- (5) 数字で抑える『富士山ハザードマップ』

3 御殿場市富士山火山避難計画の概要

- (1) 『富士山火山避難基本計画』策定の背景、骨子・考え方(アウトライン)
- (2) 富士山火山における避難の全体イメージ(噴火警戒レベル×避難対象エリア)
- (3) 噴火当日の状況分析によるリアルタイムハザードマップ(RTHM)⇒避難の予測
- (4) 市指定避難所(28ヶ所)と分水嶺による区分(流下パターンによる避難先)
- (5) 直交方向への徒歩避難(渋滞による逃げ遅れ防止と避難行動要支援者の救助)
- (6) 分水嶺を活用した各地区避難の考え方と溶岩流最速到達・最大影響範囲パターン
- (7) 流下パターン(A・B・C)別・避難対象区及び避難先⇒「各区富士山火山避難計画」
- (8) 噴火に伴う降灰の影響(降灰の可能性のある範囲、火山灰による被害)
- (9) 火山監視・警報体制と支援体制

・ 結言